

令和7年度総合計画審議会における意見要旨

議題（１）：福岡県総合計画の実施状況について

- ワンヘルスセンターの中核施設の中身について、なかなか情報が出てこない。知事はよく世界に先駆けた施設といわれているが、それに見合うだけのソフトがなければ絵に描いた餅になるのではないかと。従って、有識者や大学の先生方等、色々な形でご意見をいただくような場を作ると良い。
- 動物保健衛生所というのは、日本の法律にはない。新たに福岡県が独自にやらないといけない。それがワンヘルスセンターである。2年後にはできるので、世界中、あるいは日本中から色々な方々が見学に来られる。そういう意味で、十分な検討をしていかないと2年経った時に、「箱はできました。しかし、中身がありません。」と言ったのでは、福岡県の大きな汚点になるのではないかと思います、意見を述べさせていただきます。
- 産業廃棄物処分量が令和4年度実績でかなり増えている。理由は一時的に瓦礫が増加したためと説明を受けたが、瓦礫のリサイクル手法などを含めて事業者へ情報提供し、最終処分量が増えないようにすべきではないか。
- 観光分野の数値目標「延べ宿泊者数（外国人）」が予定より遥かに増えている。たくさん来てくれるのは嬉しいことだが、京都あたりをみるとオーバーツーリズムの影響がでているので、しっかり考えてほしい。
- 観光分野の数値目標「リピーター率」は、どれくらいが適切な目標値か、設定が難しい。リピーター率は新しく入ってこられる観光客の方が増えていくと、自然に減るため、数値が高ければよいというものではなく、ある程度順序立って適切な目標値を設定するのが正しい姿だと思う。
- 今、災害が多くなってきて非常に危惧していることがある。教育現場では男女混合名簿が推進されているが、氏名だけでは性別が分からない。災害時に身元の特定を進める上でも、性別を明記しておかないと、初動体制に遅れがでるのではないかと。高齢者避難の際のアンケートには性別のチェック欄がある。大人も子どももいつ災害にあうか分からない。同じ視点で臨まないと難しいと思うので、是非研究していただきたい。

議題（２）：令和７年度県民ニーズ調査結果について

- 防災について、防災情報といったソフトだけではなく、ハード整備をしてほしいというニーズがあるのではないかと。ハード整備についても、例えば、災害が起きた後の復旧・復興や事前に砂防だとか、土砂災害の防止、水害の防止、河川整備などのニーズがあると思う。

そういったニーズが拾えるよう設問を検討すべきではないか。

- ニーズ調査の結果を見ると、人口減少に対応したコンパクトなまちづくりを進める必要がある一方で、新しい産業用地を作る必要がある。そして優良な農地は守ってほしいというニーズもあり、非常に難しい状況だと思っている。

両立するのが難しいのは重々承知の上だが、実際に優良な農地を潰して、産業用地をつくって浸水するというパターンも県の中ではたくさん事例として見られるのが現状だと思うので、そのあたりの長期的なリスクを把握しながら施策を進めていきたい。